

資料3－1

第5回宇宙産業部会 議事要旨

1. 日時：平成25年10月18日（金） 9：00－11：00
2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室
3. 出席者
 - (1) 委員
松本部会長、中須賀部会長代理、池上委員、佐相委員、下村委員、西村委員、仁藤委員、目崎委員、山川委員
 - (2) 事務局
西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、頓宮宇宙戦略室参事官、前原宇宙戦略室参事官、野村宇宙戦略室参事官
4. 議事要旨
事務局より、資料2に基づき、宇宙産業政策の検討の視点について説明があり、その後S J A C、J A X Aからヒアリングを行い、最後に資料1について議論を行った議論の内容は以下の通り。
 - 我が国において産業会と宇宙戦略室をはじめとする関係省庁やJAXAとを有機的に繋ぐ取組が必要。
 - 具体的な利用を念頭に置いて研究開発を行う欧州の取組は参考になる。こうした取組を我が国でも官民挙げて推進することが重要。
 - 宇宙産業の発展のためには、市場を拡大していくことが重要。今後、成長すると見込まれているのは「個人による宇宙利用」であり、この分野での需要開拓が重要。
 - 宇宙利用の拡大に向けては、宇宙産業側の発想だけでは限界があるため、宇宙以外の分野の専門家の知見を取り入れることが重要。
 - 我が国は技術力はあるが、販売戦略で欧米諸国に劣後している。宇宙産業の海外展開のためには、官民で連携し相手国のニーズ情報を効率的に把握していくことが重要。それぞれの国や地域に人脈を有し、現地の事情に精通した人材を確保することが有効。
 - 我が国宇宙産業では新規参入が停滞している。新規参入を促進するための何らかの後押しの仕組を作ることが必要。

以上